

2011国際森林年メッセージ及び行動提案について

平成23年10月24日

国際森林年国内委員会

国際森林年国内委員会は、今年が国際森林年であることを契機に森林・林業・木材産業の意義を多くの国民の皆様にお伝えし、来年以降も継続的かつ積極的に私たち国民が一丸となって森林を支えていく機運を醸成できるよう、メッセージと行動提案を発出します。

世界の森林は今、過剰な伐採などによる森林破壊が問題になっています。そして、地球温暖化、生物多様性の損失、砂漠化の進行など、地球規模の環境問題を引き起こしています。世界経済の一員として、我が国もこの状況に対して一端の責任があります。

一方、我が国では、先人が築いてきた豊かな森林があるにもかかわらず、林業に携わる人も山村に住む人も減り、手入れが行き届かず適切な管理・利用が難しくなっている森林が増えています。

これは、清らかな水と美しい国土を守り、様々な生きものの住処となる我が国の森林にとっての危機です。また、今年3月の東日本大震災を経て、私たちは改めて「木質バイオマス」¹など再生可能な資源の活用の仕方を再認識する時期にきています。

このメッセージと行動提案は、個人や企業・団体に対し、豊かな森林を守り育てていくために一人一人が具体的に行動することを呼びかけるためのものです。個人や企業・団体がこのメッセージと提案を指針として、数十年単位の長期の視点にたって、共通の認識の下で行動することを願っています。そして、国内委員はこれらの行動をサポートしていくことを宣言します。

¹ バイオマスとは、動植物に由来する有機物である資源（化石資源を除く。）。

1. 2011国際森林年メッセージ

緑豊かな美しい国土を次世代に残し、いつまでも豊かな森林の恵みを享受するために、国民一人一人が森林の重要性を認識する必要があります。持続可能な森林の管理・活用を目指して、国際森林年国内委員会は下記のメッセージを発表します。

「森のチカラで、日本を元気に。」

2. 我々一人一人が取り組みたい行動の提案

国際森林年国内委員会は、上記のメッセージとともに、以下の行動を提案し、それらを実行している個人や企業・団体をサポートしていきます。

この行動提案は、林業に携わる方から都市住民、産業界、行政や関連団体まで幅広く全ての国民を対象としています。森林・林業・木材産業の関係者だけでなく、社会全体で森林を支えていく国民的運動を提案するものです。

<人づくり>

1. 森林や木に親しみ慈しむ気持ちを育てましょう。

(1) 幼児から高齢者まで全ての世代の人々に森林体験活動を通じて森林や木を身近に感じてもらいましょう。

(2) 次代を担う子ども達に、学校教育や社会教育を通じて「森林・林業・木材産業の役割」、「木づかい」、「森の恵み」の大切さを伝えていきましょう。

(3) 「元気な日本」を取り戻し山村を活性化するため、農山村と都市との交流を進めましょう。

2. 森林に関わる文化と技術を伝承、維持、発展させましょう。
 - (1) 村祭りなどの行事や風習など、森林や山村に関わる文化を応援しましょう。
 - (2) 森林管理・利用の技術を伝承、維持、発展させるため、研究者、技術者、技能者を養成しましょう。
 - (3) 森林・林業・木材産業に関わっている人や新たに関わろうとする人々の生活環境を整備しましょう。

<森づくり>

1. 世界有数の生物多様性豊かな森林資源を保全し、持続可能で豊かな森林づくりを実現しましょう。
 - (1) 身近な緑を大切にするとともに、人間と動植物のより良いバランス関係づくりのため、里山の整備・保全を推進しましょう。
 - (2) 個人、企業、団体がそれぞれの経済活動において、森林づくりに貢献できる社会的仕組みを構築しましょう。
 - (3) 森づくりを募金やボランティア活動などで支援しましょう。
2. 林業・木材産業などの経済活動を通じて、質の高い森林資源の維持と循環利用を実現しましょう。
 - (1) 林業のための道の整備や作業の機械化を推進しましょう。
 - (2) 地域材をはじめ森林の多様な資源を使うことにより、森林の管理や利用を効率化しましょう。

<木づかい>

1. 地域材をはじめ森林の多様な資源を優先的に使用し、地域振興を進めましょう。

- (1) 品質・性能などに対する正しい情報を発信し、地域材などの地産地消を推進しましょう。
 - (2) 安全で効率的に木材生産ができる技術を開発・普及しましょう。
2. 建材だけにとどまらない森林資源を活用したライフスタイルへの転換を進めましょう。
 - (1) 地域材などを豊富に利用する文化を醸成しましょう。
 - (2) 森林資源を活かした工芸などの伝承と創出を推進しましょう。

<震災復興>

1. 地域材などを活用して林業や木材産業を振興し、雇用を増やしましょう。
 - (1) 安全で安心な木質建材を提供するとともに、そのための木材資源は地域のものを利用し、地産地消を推進しましょう。
 - (2) 木材のカスケード利用²を進めながら、エネルギー源としての「木質バイオマス」の利用を進め、無駄のない効率的な木材利用システムを整備しましょう。
 - (3) 緊急時に備えた都市向け資材のストックを行いましょう。
2. 震災を契機に新たな決意で森林づくりに取り組みましょう。
 - (1) 津波の勢いを弱める海岸林の整備など災害に強い森林づくりを進めましょう。
 - (2) 生物多様性が豊かで地元住民の生業の場となるような森林づくりを進めましょう。

² 「木材のカスケード利用」とは、木材に固定された炭素が長期間にわたって貯蔵されるよう、建築物等の資材として利用した後、木質ボードや紙等での利用を経て、最終的に燃料として利用すること。